

名古屋大学陸上部OB会月報(第17号)

2011.12.2 発行

目次

1. 第16回 T&F 講演会開催 ~今井美希さん熱弁~ 國枝秀世 (S50 理)
2. 各委員会からのご報告
3. 大学からの受賞報告

1. 第16回 T&F 講演会開催 ~今井美希さん熱弁~ 國枝 秀世 (S50 理)

愛知学院大学陸上競技部 OB 会と共同開催している T&F 講演会も回を重ねること 16 回となり、初めての女性講師をお迎えしました。瑞陵高校卒業後、中京女子大学、ミズノと進まれる中で、女子走高跳で全日本 IC3 連覇、日本選手権 6 回優勝など輝かしい活躍をされて現役引退、現在は母校の現至学館大学研究員として研究の傍ら、後輩の指導をされている今井美希（いまいみき）さんです。



会場は 6 月に完成したばかりの名古屋大学 ES 館 1 階大ホール。定刻の 14 時半、名大 OB で強化委員会メンバーの齋木基久君 (S62 工) の司会で始まり両校の陸上部員と OB が聴き入りました。演題は「夢の叶うまで」です。



大学 4 年間から、ミズノ入社後、日本記録 1m96 を樹立するまでの競技人生をたどる形で、その時々の練習の進め方、心の動きを、コーチとのやり取りなど、様々なエピソードをまじえてお話し頂きました。最も強調されたのは、心技体の内の「心」の重要性でした。

コーチに「技、体」の素質を認められないのに反発し、強くなろうとする強い気持ちが、今井さんを練習に向かわせ、驚くべきウェイトトレーニングを始めとする激しい練習を可能にした様です。それがオリンピック出場、日本記録樹立へつながったとのこと。何より後悔しない様に練習と準備をすることを心がけたこと、「それをしないで試合で結果が出ない者は泣く資格はない」、と言うことばは印象的でした。

講演では、選手時代のウェイトトレーニングの練習ノート数冊を学生に回覧して頂くなど、学生は貴重な刺激を受けたと思います。質疑では、名大西山女子主将が冬期トレーニングについて質問（写真）、また跳躍選手の膝痛の対応については今井講師に加えて、聴講された荒木先輩 (S46 医) からアドバイスをいただきました。これら具体的な質問から、今井さんのこれからの夢は何かと言う質問まで、様々な質問に対して、丁寧に答えて頂きました。

講演会終了後に行った聴講学生アンケート集計(名大学生 55名分)では、講演内容が大変参考になったなど好評が寄せられました。今後の講師の希望では、以下の名前が上がりました。

<短距離> 為末、末續、朝原、福島、伊藤浩司、内藤(110H)

<長距離> 川口優輝、横田真人(800m)、野口みずき、高橋尚子、小林史和(NTN)

<長距離監督> 阪口(中国電力)、大八木(駒大)、櫛部(城西大)、花田(上武代)、渡辺康幸(早大)、川口孝志郎、金尾洋治



若干興味本位のリストと思われる点がありますので、今後強化部会を中心に検討していきたいと思えます。学生数の種目分布から言って、長距離と短距離+フィールドで交互に講師を呼ぶと良い様に考えます。

参加者計 90 名

(名大 OB: 大澤、國近、荒木、野田、斉木、永峰、國枝、以上敬称略)

(愛知学院大 OB: 外山泰臣、中村輝雄、高橋俊平、安存大志郎、以上敬称略)

(写真撮影: 大澤)

2. 各委員会からのご報告

【広報委員会】

10月8日に学生渉外主務の交代に伴い、広報引き継ぎを主目的に、当面の課題についてOB委員と学生との間で意見交換を行いました。陸上競技部から澤田主将、伊藤副主将、西山女子部主将、池亀H/P管理者、渉外主務高坂、会報担当(前)石田&(新)祖父江、OB会から大澤副会長兼総務、國枝部長兼強化、國近広報の各委員長が出席しました。主な議題と討議結果は次の通りです。

(1) 年間スケジュールの確認

11月23日: 講演会(愛知学院との共催)、今井美希さん(実施済)

12月4日: 東海学生駅伝、男女共

2012年3月3日: 総会予定、場所は名古屋ガーデンパレスホテル

2012年3月: 今年度卒業生の進路調査、等

(2) 陸上競技会報(第50号)の発刊と編集体制について

今年の第49号発刊日は6月30日でした。この場合、発送が7月中旬となり、七大戦直前で編集担当者(1名)の負荷が集中し高すぎる、またOB会費依頼のタイミングも考慮し、発刊を早期化した方がよい(例えば5月末までに発刊、6月発送)と提案しました。討議の結果、編集委員の増員、編集要領のマニュアル化、一人当たりの掲載文量の基準を決める、新1年生名簿作成は5月上旬まで、などを見直すことで発刊早期化を図ることになりました。12月頃、再度打ち合わせ予定です。

なお、平成23年11月6日にOB、OG各位宛て、「会報のOB投稿のお願い」を

発信済です。49号ではOB、OGからの寄稿が8件と少なかったため、次号では多数の寄稿（目標20件）を掲載したく、ご協力をお願いいたします。

（3）H/Pの改善提案

古川さん（H8工）から提案があり、H/Pの内容充実、情報提供のタイミング適切化などが狙いです。当面は直ぐできることから改善し、今後の取り組みについては別途打ち合わせるようになりました。

【強化委員会】

懸案になっていました、短距離・フィールドのコーチとして、新たに太田良平先生をお招きすることになりました。以前、野瀬選手（H63工）の頃に、3年間ほど名大陸上部のご指導を頂いたことのある先生です。昨年3月まで瑞陵高校で教鞭を取っておられ、定年後も非常勤講師として教えておられます。教え子には今回の講演会で講師をお願いした今井美希さんを始め、インターハイ優勝者、入賞者が多数お見えです。当面は、週1回、グラウンドにおいで頂き、選手を見て、学生から相談を受ける形で始めることになりました。来年以降の非常勤講師の継続などがまだ不明ではありますが、もし時間が取れば、来シーズンからは週3-4回見て頂けるとのこと。11月19日に最初の顔合わせのミーティングを短距離、フィールドの選手と2時間程行い、お話し頂きました。冬期シーズンの始まるころから見て頂くことで、学生が持てる力を引き出して頂ければと期待しております。

【会計委員会】

OBの皆様方には毎年OB会費を納入していただき大変感謝いたしております。

先日第2回会計委員会を開催し、OB会並びに競技部会計の現状を確認するとともに、第2回OB会費納入願い案の作成を行いました。本年度の昨日時点のOB会費収入は、全日本大学女子駅伝に出場した昨年度はもとより、一昨年度とくらべても減少しており、一昨年度比97%となっております。現役諸君もがんばっておりますので、まだ納入していないOBの方々には是非この機会に納入をお願いいたします。一部のOBの方々には現役学生から直接納入願いの連絡があるかと思いますがよろしくご対応をお願いいたします。

【総務委員会】

本年3月の総会で規約の改正と共に松本会長以下の新体制で活動を開始しました。札幌での七大戦を始めとして各試合の応援に出かける一方で、現状の課題を一つずつクリアして行こうとしています。特にここ最近OB各位よりお叱りの声が届くことの多い‘事務手続き上のミス’撲滅を目指しています。手始めに、この夏の競技部役員交代に当たりそれぞれの仕事の整理・定義づけをしようとの國枝部長の提案に従い、引継会議の場に立ち会い、現状の把握から始めております。四半世紀を超える昔に活動した我々の感覚と当世学生気質との接点を探りながら勉強中です。

<<お知らせ>>

次回の総会の日程と場所が決まりました。新しいカレンダーを入手されましたら真っ先に書き込み願います。

○日程：2012年3月3日（土）夕刻

○会場：名古屋ガーデンパレスホテル

詳細は年明けに改めてご案内いたします。

3. 大学からの受賞報告

・平成22年度名古屋大学総長顕彰

情報科学研究科M2（当時）の垣津奈美さんが正課外活動（部活動）正課外研究活動分野で受賞しました。詳しくは下記ウェブサイトの23ページをご覧ください。

<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/topics/pdf/no215.pdf>

・平成23年度名古屋大学体育会会長表彰

経済学部2年の鈴木亜由子さんが天皇賜盃第80回日本学生陸上競技対校選手権大会（全日本インカレ）女子5000m優勝により表彰されました。



体育会会長の
濱口総長から
表彰状授与



受賞者代表と
して挨拶する
鈴木さん

編集後記

このたび、2009年3月の第16号以来、“自然休刊”状態となっていました「月報」を再開することになりました。ご承知の通り、この月報は創刊号（2006年12月）で大澤OB会広報部会長（当時）が述べられていますように、「会員相互の親睦ならびに現役陸上競技部員サポートの大きな力としたいと思います」との趣旨でスタートしました。東山の山の上グラウンドを第二の故郷とするOB・OGの皆様の情報交換や交流の場として、より多くのご参加を得て継続させていきたいと思っております。

去る11月23日に國枝強化委員長のご尽力で、女子走高跳日本記録保持者「今井美希さん講演会」が開催されましたのを機に、氏の日本新記録樹立までに至る素晴らしい講演を現役の陸上競技部員に提供できたことをメイン記事として「月報第17号」をお届けできますことに感謝申し上げます。（文責：國近）

本月報へのご意見やご投稿、OB会へのご連絡は下記アドレスへ。

nagoyaunivtrack_field@yahoo.co.jp